



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名	日本化学産業株式会社	上場取引所	東
コード番号	4094	URL	https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/
代表者(役職名)	代表取締役社長	(氏名)	角谷博樹
問合せ先責任者(役職名)	執行役員 経営企画室部長	(氏名)	吉田豊
TEL	03-5246-3544		

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	20,611	6.8	2,478	5.5	2,859	8.6	2,039	9.1
	19,291	16.1	2,349	51.5	2,633	40.2	1,868	46.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,481百万円(△145.3%) 2025年3月期第3四半期 1,827百万円(△16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 104.78	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	96.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円 58,574		百万円 49,182		% 84.0	
2025年3月期	54,303		46,478		85.6	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 49,182百万円 2025年3月期 46,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 75.00
2026年3月期	—	45.00	—		
2026年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 26,200	% 3.0	百万円 2,680	% △6.3	百万円 3,100	% △3.5	百万円 2,220	% △5.8	円 銭 114.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）一 、除外 一社（社名）一

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	20,280,000株	2025年3月期	20,280,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	819,265株	2025年3月期	819,409株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	19,460,623株	2025年3月期3Q	19,452,502株

注) 期末自己株式数には、役員及び従業員向け株式交付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2026年3月期第3四半期296,124株、2025年3月期296,268株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における日本経済は、中国経済の低迷、インフレ傾向の継続、米国の関税政策の経済への影響等、依然として不透明な要素があるものの、個人消費は底堅く推移し、設備投資についても堅調な動きを維持いたしました。

このような状況のもと、当社グループは2023年10月よりスタートした中期経営計画に基づき、2030年のありたい姿を視野に入れ、持続的な成長を目指しており、当第3四半期連結累計期間も計画に沿って施策を推進しております。特に、リチウムイオン電池リサイクルパイロットプラント建設は計画通り進捗し、サステナブルな社会への貢献と事業基盤の構築に向けて取り組んでおります。また、既存分野では、製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザー開拓にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、薬品事業及び建材事業の双方において、売上が拡大したことにより、前年同四半期比1,319百万円 6.8%増の20,611百万円となりました。営業利益につきましては、研究開発費等の販売費及び一般管理費が139百万円増加したものの、前年同四半期比128百万円 5.5%増の2,478百万円となりました。経常利益は、営業利益増に加え、営業外収益も増加し前年同四半期比226百万円 8.6%増の2,859百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比170百万円 9.1%増の2,039百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

① 薬品事業

主力の薬品事業では、主要な分野である電子工業の出荷額は引き続き緩やかな回復基調にあり、国内市場における販売数量の拡大や非鉄金属相場の高騰に加え、東アジア及び東南アジアでの需要拡大に対応した海外（タイ）子会社であるサイアム・エヌケーエス社の業績伸長が、売上高及び利益の増加に貢献いたしました。労務費、物流コスト等が増加する一方で、販売単価アップや生産コスト削減等の取り組みが奏功し、セグメント利益が拡大いたしました。二次電池用正極材の受託加工は、計画通りの水準で推移いたしました。

この結果、売上高は前年同四半期比1,200百万円 7.3%増の17,680百万円となり、また、セグメント利益は前年同四半期比226百万円 8.8%増の2,787百万円となりました。

② 建材事業

建材事業では、新設住宅着工戸数の減少等、厳しい事業環境が続いております。このような環境下、新規顧客の開拓や新製品の拡販に努めています。当第3四半期連結累計期間では、2025年4月に施行された建築基準法改正等による短期的な需要の変動はあったものの、前年同期に比べ増収となりました。一方、労務費を中心とする固定費の増加により、セグメント利益は減少となりました。

この結果、売上高は前年同四半期比119百万円 4.2%増の2,931百万円となり、また、セグメント利益は前年同四半期比 24百万円 5.3%減の446百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における流動資産は、長期預金の振替によって現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比5,705百万円増の34,207百万円となりました。一方、固定資産は、前連結会計年度末比1,434百万円減の24,366百万円となりました。このうち、有形固定資産は、機械及び装置等の減価償却が進んだものの、リサイクルパイロットプラント建設の進捗等に伴い建設仮勘定が増加したことにより、前連結会計年度末比66百万円増の8,490百万円となりました。また、投資その他の資産は、長期預金が減少したこと等により、前連結会計年度末比1,513百万円減の15,751百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末比4,270百万円増の58,574百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金が減少したものの、仕入債務が増加したこと等により、前連結会計年度末比331百万円増の5,994百万円となり、固定負債は、保有株式の時価上昇に伴う、その他有価証券評価差額金の増加により繰延税金負債が増加したこと等により、前連結会計年度末比1,234百万円増の3,396百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比1,566百万円増の9,391百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比2,704百万円増の49,182百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.6%から84.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想については、2025年11月7日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容を据え置いております。今後、受託事業終了に関連する影響、及びその他の要因を含めて精査の上、業績予想の見直しが必要とされる場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,418,395	19,502,268
受取手形及び売掛金	6,948,707	7,663,379
電子記録債権	943,277	1,870,009
商品及び製品	2,062,624	1,746,095
仕掛品	1,242,391	1,415,465
原材料及び貯蔵品	1,722,980	1,915,037
その他	165,141	96,519
貸倒引当金	△1,200	△1,420
流動資産合計	28,502,318	34,207,355
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,337,477	2,084,856
その他（純額）	6,086,989	6,406,011
有形固定資産合計	8,424,467	8,490,867
無形固定資産		
	112,037	124,077
投資その他の資産		
投資有価証券	8,854,753	12,433,053
繰延税金資産	7,100	6,301
長期預金	7,100,000	2,100,000
その他	1,304,808	1,214,014
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	17,265,092	15,751,798
固定資産合計	25,801,598	24,366,743
資産合計	54,303,916	58,574,099
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,743,976	3,303,006
電子記録債務	437,955	529,522
短期借入金	263,800	-
未払法人税等	446,982	337,057
賞与引当金	420,000	230,000
役員賞与引当金	40,000	20,625
その他	1,310,888	1,574,733
流動負債合計	5,663,603	5,994,945
固定負債		
繰延税金負債	1,627,281	2,801,353
退職給付に係る負債	350,728	351,556
役員株式給付引当金	95,689	115,692
従業員株式給付引当金	-	39,775
資産除去債務	40,735	40,928
その他	47,006	46,895
固定負債合計	2,161,442	3,396,202
負債合計	7,825,045	9,391,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	856,908	856,908
利益剰余金	40,905,658	41,166,560
自己株式	△920,903	△920,693
株主資本合計	41,875,663	42,136,775
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,272,862	5,794,049
為替換算調整勘定	1,173,651	1,139,397
退職給付に係る調整累計額	156,692	112,729
その他の包括利益累計額合計	4,603,206	7,046,176
純資産合計	46,478,870	49,182,951
負債純資産合計	54,303,916	58,574,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,291,649	20,611,491
売上原価	14,509,906	15,561,172
売上総利益	4,781,743	5,050,319
販売費及び一般管理費	2,432,036	2,571,852
営業利益	2,349,706	2,478,466
営業外収益		
受取利息	11,322	55,774
受取配当金	204,636	237,261
不動産賃貸料	59,316	60,231
その他	76,458	80,280
営業外収益合計	351,733	433,549
営業外費用		
支払利息	5,028	1,008
賃貸収入原価	25,612	23,760
為替差損	37,397	26,944
その他	401	468
営業外費用合計	68,439	52,182
経常利益	2,633,000	2,859,833
特別利益		
固定資産売却益	2,805	2
投資有価証券売却益	42,041	12,348
特別利益合計	44,847	12,351
特別損失		
固定資産売却損	2,040	-
固定資産除却損	24,508	36,240
特別損失合計	26,548	36,240
税金等調整前四半期純利益	2,651,298	2,835,943
法人税等	782,702	796,924
四半期純利益	1,868,596	2,039,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,868,596	2,039,019

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,868,596	2,039,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△218,917	2,521,186
為替換算調整勘定	214,076	△34,253
退職給付に係る調整額	△36,701	△43,962
その他の包括利益合計	△41,541	2,442,970
四半期包括利益	1,827,055	4,481,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,827,055	4,481,989
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,479,642	2,812,006	19,291,649	—	19,291,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,479,642	2,812,006	19,291,649	—	19,291,649
セグメント利益	2,560,874	471,445	3,032,319	△682,612	2,349,706

(注) 1. セグメント利益の調整額△682,612千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,680,223	2,931,267	20,611,491	—	20,611,491
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,680,223	2,931,267	20,611,491	—	20,611,491
セグメント利益	2,787,147	446,508	3,233,656	△755,189	2,478,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△755,189千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
--	--

減価償却費	770,563千円	798,643千円
-------	-----------	-----------

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	12,938,078	2,812,006	15,750,085
海外	3,541,563	—	3,541,563
顧客との契約から生じる収益	16,479,642	2,812,006	19,291,649
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	16,479,642	2,812,006	19,291,649

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	13,861,763	2,931,267	16,793,031
海外	3,818,460	—	3,818,460
顧客との契約から生じる収益	17,680,223	2,931,267	20,611,491
その他の収益			
外部顧客への売上高	17,680,223	2,931,267	20,611,491